



(写真提供：彦根市立図書館)

特別展 (2階展示室) 生誕110年 雪の詩人

# 高祖 保展 2020. 9.13<日>~12.6<日>

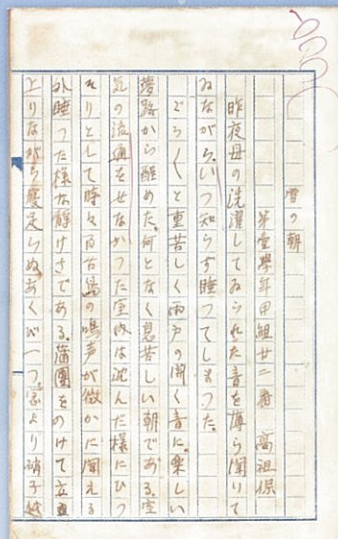
“雪の詩人”と呼ばれた高祖 保 (1910~1945年/現・瀬戸内市牛窓町出身) は、今年、生誕110年を迎えます。この節目の年を記念して、貴重な直筆資料や愛用品、初版本などを展示し、高祖 保の魅力についてご紹介いたします。

## 《略歴》

- 明治43年 現・瀬戸内市牛窓町に生まれる。
- 大正8年 前年、父が死去。分家した母にともなわれて、母の郷里である現・彦根市に転居。
- 昭和2年 百田宗治が主宰する第一次「椎の木」に参加。
- 昭和7年 國學院大學付属高等師範部に入学し、東京へ転居。
- 昭和8年 第一詩集『希臘十字』刊行。
- 昭和11年 國學院大學を卒業後、叔父の経営する貿易商社に勤める。
- 昭和12年 結婚。叔父の死去にともない家督を相続、宮部姓となる。
- 昭和16年 第二詩集『禽のみる五分間写生』刊行。
- 昭和17年 第三詩集『雪』刊行。翌年、同作にて文藝汎論詩集賞受賞。
- 昭和19年 第四詩集『夜のひきあげ』刊行。  
応召され、翌年、ビルマの野戦病院にて戦病死。



第四詩集『夜のひきあげ』  
青木書店/昭和19年



原稿「雪の朝」

彦根中学校時代の作文  
(瀬戸内市立図書館蔵)

企画展 (1階展示室)

併催

## 吉備路近代文学の7人展

すすきだ きゆうぎん  
薄田泣菫

詩人、随筆家  
明治10年(1877)~昭和20年(1945)  
現・岡山県倉敷市生

まさむね はくちよう  
正宗白鳥

小説家、劇作家、文芸評論家  
明治12年(1879)~昭和37年(1962)  
現・岡山県備前市生

かく まつじやく  
郭沫若

詩人、小説家、劇作家、歴史学者  
明治25年(1892)~昭和53年(1978)  
中国四川省生。  
岡山の第六高等学校卒。

生誕120年  
さいとう さんき  
西東三鬼

俳人  
明治33年(1900)~昭和37年(1962)  
現・岡山県津山市生

ながせ きよこ  
永瀬清子

詩人  
明治39年(1906)~平成7年(1995)  
現・岡山県赤磐市生

しばた れんぞぶろう  
柴田錬三郎

小説家  
大正6年(1917)~昭和53年(1978)  
現・岡山県備前市生

ふじわら しんじ  
藤原審爾

小説家  
大正10年(1921)~昭和59年(1984)  
東京生。現・岡山県備前市で  
少年時代を過ごす。

多くの文学的才能をはぐくんだ吉備路の文学者のなかから、  
今年生誕120年の俳人・西東三鬼を中心に、7人ご紹介いたします。

### 吉備路文学館

KIBIJI LITERARY MUSEUM

〒700-0807 岡山市北区南方 3-5-35

<交通のご案内>

JRでお越しの方：岡山駅より徒歩15分、タクシー3分

バスでお越しの方：岡電バス〔妙善寺・三野公園〕行、

または宇野バス〔美作方面〕行で「南方交番前」下車徒歩3分

お車でお越しの方：文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。

がんばろう 岡山!  
復興へ 心つなげて